

平成26年度 資源循環技術・システム表彰 募集案内

本表彰は、廃棄物の発生抑制（リデュース）、使用済み物品の再使用（リユース）、再生資源の有効利用（リサイクル）に寄与する、高度な技術又は先進的なシステムの特徴を有する優れた事業や取組を広く公募・表彰し、その奨励・普及を図ることにより、循環ビジネスを振興することを目的としています。

多数の企業・事業団体の皆様のご応募をお待ちしております。

昨年度より、レアメタルリサイクル賞を創設しております。
この賞は、他の賞と異なり、要素技術開発、パイロット試験、実証実験段階の取組も対象となります。
レアメタルリサイクル事業や技術・システム開発に率先して取り組んでおられる皆様のご応募をお待ちしております。

〔 応募期限は平成26年4月18日（金）必着です。 〕

主催：一般社団法人産業環境管理協会
後援：経済産業省（交付申請中）

この募集案内は、当協会資源・リサイクル促進センター（旧 CJC）ホームページ（<http://www.cjc.or.jp/>）「お知らせ」掲載の『平成26年度「資源循環技術・システム表彰」募集について』からダウンロード（Word）できます。申請書の様式としてご利用ください。

<目 次>

	頁
募集対象及び応募方法等	
1．募集対象.....	1
2．賞の種類.....	2
3．応募方法	3
4．提出及び問い合わせ先	4
5．提出期限.....	4
6．審査方法	4
7．結果の通知	4
8．表彰式	4
9．広報	4
申請書様式	
【資源循環技術・システム表彰（レアメタルリサイクル賞以外）】	
申請書様式 1（再生資源の有効利用事業）.....	7
申請書様式 2（使用済み物品の再使用事業）.....	9
申請書様式 3（副産物・廃棄物の発生・排出抑制事業）.....	11
申請書様式 4（副産物・廃棄物の減量・再生利用・再使用に係わる 技術・装置・システムの開発事業）.....	13
申請書様式 5（資源循環型製品の開発・普及事業）.....	15
申請書様式 6（申請概要書）.....	17
【レアメタルリサイクル賞】	
申請書様式 7（レアメタルリサイクル賞）.....	18
申請書様式 8（レアメタルリサイクル賞申請概要書）.....	20
参考資料	
1．資源循環技術・システム表彰受賞事例（平成22～25年度）.....	23
2．申請書の記載例	
【資源循環技術・システム表彰（レアメタルリサイクル賞以外）】	
申請書様式 1（再生資源の有効利用事業）.....	26
申請書様式 2（使用済み物品の再使用事業）.....	29
申請書様式 3（副産物・廃棄物の発生・排出抑制事業）.....	32
申請書様式 4（副産物・廃棄物の減量・再生利用・再使用に係わる 技術・装置・システムの開発事業（様式4））.....	36
申請書様式 5（資源循環型製品の開発・普及事業）.....	39
【レアメタルリサイクル賞】	
申請書様式 7（レアメタルリサイクル賞）.....	42
3．その他	
申請書作成時及び発送時の注意事項（チェックリスト）.....	43

1. 募集対象

(1) 資源・循環技術システム表彰（レアメタルリサイクル賞以外）

廃棄物の発生・排出抑制（リデュース）、使用済み物品の再使用（リユース）又は再生資源有効利用（リサイクル）の促進に資する先進的で高度な技術・先進的なシステムの特徴を有する事業・取組のうち、次の～のいずれかに該当するものとします。

なお、事業所単位・工場単位の応募も可能です。

ただし、大臣賞、局長賞、会長賞は、申請内容について原則3年以上の実績を有すること、過去5年間に環境関連法令に違反していないこと、及び当該事業の実施により環境保全に支障をきたす恐れのないことを要件とします。また、実績3年未満の応募については、奨励賞の対象となります。

再生資源の有効利用事業（リサイクル事業）

使用済み物品や副産物等の廃棄物（有償物も含む。）を自社あるいは他社製品の原材料やエネルギー源として有効利用する事業であり、技術的又はシステム的特点を有し、優れた実績のあるもの

使用済み物品の再使用事業（リユース事業）

自社又は他社の製品、部品、容器、梱包等の使用済み物品を再使用する事業であり、技術的又はシステム的特点を有し、優れた実績のあるもの

副産物・廃棄物の発生・排出抑制事業（リデュース事業）

生産工程や製法の改良、クローズドシステム（工程内再利用）の採用等によって、事業所における副産物や廃棄物の発生・排出を抑制する、技術的又はシステム的特点を有する優れた取組

副産物・廃棄物の減量・再生利用・再使用に係わる技術・装置・システムの開発事業（3R技術等開発）

次に掲げる技術的又はシステム的特点を有し、優れたもの

ア 自社又は他社の副産物や廃棄物（有償物も含む。）を減量するための技術・装置・システム

イ 製品の原材料やエネルギー源として有効利用するための技術・装置・システム

ウ 使用済み物品を再使用するための技術・装置・システムを開発・販売する事業

資源循環型製品の開発・普及事業（3R製品開発）

ア 省資源化設計（使用材料の削減、小型化等）や長寿命化設計（消耗箇所の修理の容易化、アップグレード対応設計等）等によって廃棄物の発生抑制に配慮した製品を開発するとともに、修理サービス体制の整備等によって当該製品を普及させる、技術的又はシステム的特点を有する優れた事業

イ 再使用可能部品の使用、分解が容易な構造等によって使用後の再使用・再資源化が容易な製品を開発するとともに、回収システムの構築等によって当該製品を普及させる、技術的又はシステム的特点を有する優れた事業

その他の事業・取組

上記～の複数の分野にわたる総合的な事業・取組、又は上記～に分類されない、技術的又はシステム的特点を有する優れた事業・取組（応募に当たっては事前に事務局にご相談ください。）

(2) 資源・循環技術システム表彰 レアメタルリサイクル賞

製品に使用されているレアメタルのリサイクルを早期に実現することが期待されている鉱種に関して、経済的な資源循環システムの実現に寄与する優れた取組が対象です。次に掲げる鉱種に該当していれば、要素技術開発から商業的な資源循環事業までのすべての段階の取組が対象となります。

なお、対象鉱種以外は「資源・循環技術システム表彰（レアメタルリサイクル賞以外）」対象です。

対象鉱種：ネオジウム、ジスプロシウム、コバルト、タンタル、タングステン

対象段階：要素技術開発、パイロット試験、実証実験、商業的な資源循環事業

2. 賞の種類

(1) 資源循環技術・システム表彰

経済産業大臣賞（交付申請中）

経済産業省産業技術環境局長賞（交付申請中）

一般社団法人産業環境管理協会会長賞

奨励賞（実績3年未満対象）

レアメタルリサイクル賞

- 補足 -

〔奨励賞に関する補足〕

実績期間が3年に満たない事業についても、新規性が高く、新たなビジネス創出の観点から表彰によりその事業・取組の推進をより一層促進することに寄与すると考えられるものを対象として、奨励賞を設けています。

ア 募集対象

大臣賞、局長賞、会長賞に同じです。

なお、奨励賞を受賞された事業・取組に関して、実績期間が3年を超えた場合には、会長賞以上の賞への応募が可能となります。

イ 応募方法

申請書のタイトルに「資源循環技術・システム表彰申請書（奨励賞）」と明記の上、ご申請ください（申請書、申請期限等は、大臣賞、局長賞、会長賞と同じ）。

ウ その他

奨励賞への応募事業については、実績が3年未満の事業を対象にしているため、申請書中、具体的な「実績値」・「取組」・「技術・装置・システムや、開発・販売事業」・「開発・普及事業」を提示できない場合には、「新規性や市場導入可能性が高いこと等」や「市場投入の際の副産物等の発生抑制量（率）が大きいこと等」他に関し、定量的若しくは定性的な数値又は指標等を提示ください。加えて、想定市場を示してください。

〔レアメタルリサイクル賞に関する補足〕

他の賞と異なり、以下の段階のものも対象です。

- ・ 要素技術開発、パイロット試験、実証実験の段階にあるもの

3. 応募方法

以下の要領で申請書を作成し、ご提出ください。

(1) 提出書類、部数等

申請概要書(様式6又は8): 20部

申請書(様式1~5又は7): 正本1部、副本19部(コピー) 計20部(添付資料、参考資料も含む。正本には押印のこと。)

企業概要パンフレット及び直近の決算報告書 : 各1部

電子媒体: Word、Excel等で作成した申請概要書と申請書及び添付資料の電子データをCD-ROMあるいはUSBに入れたもの(PDFは不可。ただし、添付資料、参考資料はPDF可。CD盤面に会社名、団体名をご記入ください。手書き可。)

連絡担当者名刺: 1枚

(2) 申請書等の様式

申請書は、応募内容の分野に応じ、それぞれ以下の様式を参考にして申請書をご作成ください。また、申請概要書も所定の様式を踏まえご作成下さい。

資源循環技術・システム表彰(レアメタルリサイクル賞以外)

再生資源の有効利用事業(リサイクル事業) : 様式1(7ページ)

使用済み物品の再使用事業(リユース事業) : 様式2(9ページ)

副産物・廃棄物の発生・排出抑制事業(リデュース事業) : 様式3(11ページ)

副産物・廃棄物の減量・再生利用・再使用に係わる : 様式4(13ページ)

技術・装置・システムの開発事業(3R技術等開発)

資源循環型製品の開発・普及事業(3R製品開発) : 様式5(15ページ)

その他の事業・取組: どの申請様式を適用すべきかについては事務局にご相談ください。

申請概要書(~ 共通) : 様式6(17ページ)

資源循環技術・システム表彰 レアメタルリサイクル賞

レアメタルリサイクル賞 : 様式7(18ページ)

申請概要書(レアメタルリサイクル賞) : 様式8(20ページ)

各様式は当協会資源・リサイクル促進センター(旧CJC)ホームページ(<http://www.cjc.or.jp/>)「お知らせ」掲載の『平成26年度「資源循環技術・システム表彰」募集について』からダウンロード(Word)できます。また、申請書本文の記載例(様式1~5、様式7)を添付しておりますので、ご参照ください(26ページ)。

(3) 申請書作成上の留意事項

会社名又は事業所名は正式名称をご記入ください。表彰状等にはこの名称を記載します。

申請書本文は申請する事業の特徴(従来の問題点と改善点)を記載ください。

また、図表を用い分り易い表現で正確に記入してください。難解な用語・特殊な用語には、簡単な説明を付けてください。必要に応じて、図面、写真、製品や装置・システムのカatalog等の補足資料を添付ください。

申請書は鑑(表紙の1枚目)を除いて5~10ページ程度にまとめてください(最大15ページ。

添付資料、参考資料(大きな図、表、特許、パワーポイント等)はこれに限らない。)

申請書(本文含む)及び申請概要書はWord、Excel等で作成ください。

A4版、縦長、横書とし書式は「標準の文字数」を基本とします。

フォントは「MS明朝、10.5pt」を基本とするが、見出し、タイトルはMSゴシック可。

各頁の最下部中央に頁番号を振って下さい(表紙の次のページから1,2,3...)

なお、各申請書様式(表紙、鑑)及び申請概要書様式の中にある説明文(斜字体)は削除ください。

申請書(表紙の1枚目)は片面コピーとし、次ページ以降は両面コピーください。

ファイルの都合上ホッチキス綴じとし、左上隅を綴じるよう(一個所)お願いします。

申請概要書はA4で1~2枚(図を含め)におまとめください。

添付の「申請書本文の記載例」は、あくまでも一つの例ですので、応募内容に応じ記載しやすい

ように変更しても構いません。

申請書作成時及び申請書発送時には43ページのチェックリストでご確認ください。

(4) 連名で申請する場合の注意事項

2社以上の企業・事業団体が連名で申請する場合、所在地・代表者・連絡担当者・連絡先等は、各社各々、申請書の1頁目を個別に作成し、ご記入ください。また、申請書は各社の役割分担が分かるように作成ください。

(5) 会社以外の事業団体が申請する場合の注意

協同組合や社団法人等の事業団体が応募する場合、定款又は寄附行為を添付ください。また、団体の性格・事業目的、規模・会員数、認可省庁及び補助金等の有無等の分る資料を添付ください。

(6) 既受賞事業の再応募の取扱

前回受賞時に比較して申請事業内容の拡大・発展が顕著であれば、より上位の賞を目指した応募が可能です。ただし、前回受賞時と同じ賞での再表彰はいたしません。

(7) その他の表彰事業における受賞案件の取扱

3R推進協議会主催「3R推進功労者等表彰」における大臣賞受賞案件は、審査対象から除きます。

4. 提出及び問い合わせ先

申請書と申請概要書及び電子媒体等は期日内に下記へご提出くださるようお願い申し上げます。

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町二丁目2番1号 三井住友銀行神田駅前ビル

一般社団法人産業環境管理協会 資源・リサイクル促進センター

TEL 03(5209)7704 FAX 03(5209)7717

E-mail award2014@jemai.or.jp

なお、申請書の作成方法、内容についてご不明な点あれば、お気軽に問い合わせください。原稿のドラフトをメールでいただければ、必要事項の確認をいたします(提出期限2週間ほど前までにお願いいたします)。

5. 提出期限

平成26年4月18日(金)必着

6. 審査方法

有識者による「審査委員会」にて審査いたします。なお、必要に応じ現地調査及びヒアリングなどを実施いたしますのでご協力をお願い申し上げます。

また、場合によっては、審査委員会にてプレゼンテーションをお願いすることがありますので予めご了承のほどお願い申し上げます。

7. 結果の通知

審査の結果は文書にてお知らせします(平成26年9月上旬を予定)。

8. 表彰式

表彰式は、平成26年10月に東京で開催を予定します。

なお、この表彰式に併せ、受賞者の皆様に受賞概要のご紹介(プレゼンテーション)をお願いすることがございますので予めご了承のほどお願い申し上げます。

受賞者に表彰状及び楯が授与されます。(連名の場合、表彰状及び楯はそれぞれに授与されます。)

9. 広報

受賞者・受賞内容は、当協会ホームページ及び当協会発行の機関誌「環境管理」等で紹介予定です。また、受賞者が受賞案件を広報するにあたって使用できるロゴマークを検討中です。

以上

1. 資源循環技術・システム表彰 受賞事例 (平成22～25年度)

具体的内容は、当協会資源・リサイクル促進センター（旧CJC）ホームページ（<http://www.cjc.or.jp/>）「お知らせ」掲載の『平成25年度「資源循環技術・システム表彰」募集について』で閲覧可能）（平成23年度までは旧（財）クリーン・ジャパン・センターが主催。）

□平成25年度（15件、19社）□

経済産業大臣賞

受賞テーマ名	受賞企業名
家電から家電へのプラスチックの自己循環リサイクル	株式会社ハイパーサイクルシステムズ 株式会社グリーンサイクルシステムズ 三菱電機株式会社

経済産業省産業技術環境局長賞

使用済み熱間圧延ワークロールの再生技術	株式会社フジコー 山陽工場
---------------------	---------------

一般社団法人産業環境管理協会会長賞

有機性廃棄物を利用した浄化槽用シーディング剤の製造事業	株式会社シティック
企業ユニフォームの回収・リサイクルシステム	株式会社エコログ・リサイクリング・ジャパン
VOCガス回収装置による回収リサイクルと環境負荷低減	株式会社モリカワ
自動車用内装シートのリサイクル技術の開発	株式会社カネカ 龍田化学株式会社

奨励賞

酸化セリウム研磨材のリサイクル	コニカミノルタ株式会社
廃家電ミックスプラスチックの高精度材質選別装置の開発	ダイオーエンジニアリング株式会社
長寿命及び資源再生原料配合のコンベヤベルト開発	横浜ゴム株式会社 工業資材事業部

レアメタルリサイクル賞

超硬製品屑からのタングステンのリサイクルシステム構築	トヨタ自動車株式会社 住友電気工業株式会社
廃電子基板からのタンタルコンデンサの分離・濃縮のための実用化プラントの導入	株式会社リーテム
ハードディスクとエアコン・コンプレッサーのレアアース磁石分離回収技術の開発と実証	株式会社日立製作所
使用済み家電製品等のモーターからのネオジム磁石回収事業	田口金属株式会社
アルミ二次精錬プロセス活用によるパソコンのハードディスクからのネオジム磁石回収	若宮商事株式会社
エアコン用コンプレッサーからのネオジム、ジスプロシウム回収	木村メタル産業株式会社

□平成24年度(8件、11者)□

経済産業大臣賞：該当なし

経済産業省産業技術環境局長賞

受賞テーマ名	受賞企業名
廃棄物・副産物を有効活用した内装建材(けい酸カルシウム板)の開発	ニチアス株式会社 建材事業本部
超難離解レベル機密書類の抹消・製紙原料へのリサイクルシステム	株式会社大善

社団法人産業環境管理協会会長賞

ポンベ型イオン交換機によるめっき水洗工程のクロージド化システム	株式会社三進製作所
軽量・仮埋戻し材 ecoボール	東京ガス株式会社 株式会社キャプティ
複合機の出荷に使用する循環型包装材	株式会社リコー
防振ゴム金具の樹脂化による防振ゴムの軽量化	株式会社ブリヂストン 化工品直需事業本部

奨励賞

使用済み印刷用CTP版/PS版のアルミニウムのクロージドループリサイクル「PLATE to PLATE」システムの構築	富士フイルム株式会社
湿式分級プラントによる高炉徐冷スラグのコンクリート用細骨材開発	新日鐵住金株式会社和歌山製鐵所 日鉄住金鋳化株式会社和歌山事業所 和歌山県コンクリート製品協同組合

□平成23年度(9件、11社)□

経済産業大臣賞

受賞テーマ名	受賞企業名
廃光学ディスクの家電製品への有効利用技術の開発	ソニー株式会社

経済産業省産業技術環境局長賞

市場損傷バンパーから新車のバンパーへのリサイクル	マツダ株式会社 株式会社サタケ 高瀬合成化学株式会社
フィルム片を用いたドライ洗浄技術および装置の開発	株式会社リコー

財団法人クリーン・ジャパン・センター会長賞

建設発生土のリサイクル	環境テクノサービス株式会社
廃石膏ボードの材料リサイクル事業	株式会社 真人
廃ポリエチレンのリサイクル循環システムの構築	株式会社岩井化成
機密文書の出張細断サービス	ナカバヤシ株式会社
空気入りタイヤにおけるインナーライナーゴム使用量低減	横浜ゴム株式会社 研究本部研究部
自己循環型材料リサイクルが可能なバイオプラスチックの開発	シャープ株式会社

奨励賞：該当なし

□平成22年度(17件、21社)□

経済産業大臣賞：該当なし

経済産業省産業技術環境局長賞

受賞テーマ名	受賞企業名
学校給食の廃食器からの高強度磁器食器開発とリサイクルシステムの構築	株式会社 おぎそ 山津製陶株式会社 馬駟鋳産株式会社
電卓外装材への100%リサイクルプラスチックの使用	キヤノンエコロジーインダストリー株式会社 キヤノン電産香港有限公司
「建設副産物発生予測及び削減」支援ツールの開発と推進	清水建設株式会社

財団法人クリーン・ジャパン・センター会長賞

リサイクル材料を使用した保水性インターロッキングブロックの開発	荒木産業株式会社
使用済み加硫ブラダーの再生利用による産業廃棄物削減	横浜ゴム株式会社 平塚製造所
廃ガラスびん及びガラスくずを破砕・エッジレス加工した建設・土木資材の開発	ガラスリソーシング株式会社
グループ全体での廃棄物ゼロ・エミッション活動の推進	株式会社ブリヂストン 環境推進本部
研削盤用クーラント液浄化装置の開発	株式会社 小楠金属工業所
し尿とオガクズを資源循環するバイオトイレの開発	正和電工株式会社
有機系廃棄物を有価品に変える無公害型連続炭化乾留処理装置の開発	広島ガステクノ株式会社
段ボール印刷機におけるインク洗浄廃液削減システムの開発	株式会社 I S O W A
廃棄紙を主原料としたプラスチック原料・製品代替品の開発	株式会社 環境経営総合研究所
環境配慮型半導体デバイス組立技術(MAP法)の開発	三洋半導体株式会社 ハイパーデバイス事業部
ランフラットタイヤ普及に向けた第3世代ランフラットタイヤの開発	株式会社ブリヂストン
2成分形シーリング材用産廃対策容器の開発・普及とリサイクルシステムの構築	横浜ゴム株式会社 工業品販売本部

奨励賞

使用済み鉛蓄電池の地域循環リユース事業	兵庫県自動車整備商工組合 株式会社アクト
新規リトレッド事業の普及と廃タイヤ削減の促進	株式会社ブリヂストン 生産財タイヤソリューション事業本部